

子どもが住みよい地域にしたい！



「こずっち会議」

@豊四季台

発行) 柏市役所 地域づくり推進部 地域支援課 問合せ: 04-7167-1126 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

■日時 令和元年11月16日(土)午前10時から12時

■場所 豊四季台近隣センター 会議室A



意見交換

A~Cの三つのテーブルに分かれて、意見交換をしました。



リラックスしながら

飲み物やお菓子も用意されて、和やかに話し合えました。



意見の見える化

模造紙に参加者の意見を貼ることで、意見を見える化しました。



発表

最後に、三つのグループから、話し合いの内容を報告して頂きました。

これから、私たちの住むまちを良くしていくには、「みんなが顔見知りになることからが第一歩じゃない？」と思い、そのきっかけづくりとして、ふるさと協議会と子育て世代の方々に「子どもが住みよい地域にするには」というテーマで意見交換をしました！当日はたくさんの笑顔でたくさんのおしゃべりをして、お互いがどんな考えを持っているのかを知ることができました！
くわしくは裏面をご覧ください！



「こずっち」とは、「子(どもが)住(みよい)地(域)」の愛称です。

テーマ

子どもが住みよい地域にするには

@豊四季台

■出席者

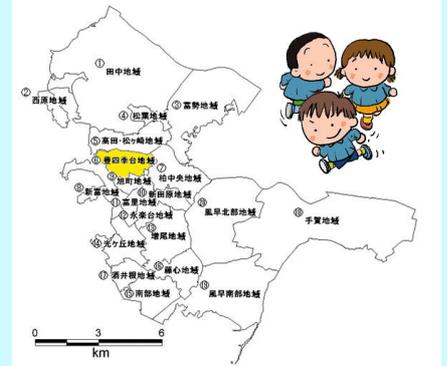
- 豊四季台地域ふるさと協議会 5名
- 豊四季台地域に住む若い世代 8名



こずっちニュースレター

ふるさと協議会とは

町会等は、わたしたちの生活に最も身近な活動団体です。柏市独自の「ふるさと協議会」は、町会等の枠を超えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として期待されています。



いまやっていること



- ・開かれたイベントを意識している。
- ・イベント情報は学校からの発信がしやすい。(回覧は遅い)
- ・地域と知り合えるのは楽しい!
- ・地域の子もたちが小さいころからお祭りに関わっている。自分たちのお祭りという意識がある。
- ・近くに子供が遊べる公園があって良い!
- ・子供の見守りをしてくれるのはありがたい。
- ・子供のコトから親同士がつながれることがある。
- ・子供のことなら自分事として考えられる。
- ・顔が見えると安心感がある。
- ・高柳まつりは、すごくウェルカムで、子供から大人までお手伝いをしていて良かった。



これからやれたらいいなと思うこと

- ・きっかけになりそうな情報は、掲示板だけでなく、ポストインなどがあると良い。他に学校で配ってもらえると良い。
- ・意外と地域に関わりたいお母さんは多いと思う。きっかけづくりが重要。
- ・お祭りの後片付けは、女性より男性に出てほしいな。
- ・柏市からのメールで、イベント情報の発信ができてよい。
- ・スクールメールで、ふるさと協議会、町会のイベント周知ができれば。
- ・最初のきっかけ→学校のHPにふるさと協議会や町会のHP? 情報? をリンクさせる。
- ・受動的に地域の人が情報を知れるしくみがあれば。
- ・学校が地域の拠点!
- ・子どもを呼ぶなら、主催が「どこ」より「学校でやる」ということが大事!
- ・子どもを中心に考えるなら、学校中心でやるのが大事。
- ・場所が学校になるので、学校中心で団体が動くといよい。
- ・学校を核として行事をやる。そこに大人が乗っかればもっといろんなことができる。



参加して感じたこと

【熟年世代】

- ・若い方と交流ができ、今どんなことを考えているか知ることができた。
- ・学校、ふるさと協議会等のくくりを越えたメンバーの意見交換ができた。

【若い世代】

- ・既に地域で活動している先輩方とお話しできて楽しかったし、学びになった。
- ・今まで知ることがなかったふるさと協議会を理解できた。



そのほかの地域で行なわれた
こずっち会議はこちらから→

